

個人蔵であるため美術館などではご覧いただけません！

文化勲章受章作家

う え む ら し ょ う え ん

災厄除去を願う平安伝統の守り神

# 上村松園 『春ひいなのお図』

吉祥尽くしの豪華表装！  
額装 軸装

お子様の健やかな成長を願い、美しい夫婦びなの名画を忠実に復刻。  
温もりあふれる画風と細密な描写が幸福に満ちた春の到来を告げます。



## 不世出の偉才の瑞々しい表現力

■子供の健やかな成長を願い、華やかな春の到来を祝うひな人形。この度、ご案内するのは、女性初の文化勲章受章作家・上村松園が瑞々しいまでの生命を吹き込んだ「春ひいなのお図」です。立ちびなとは男びなと女びなを象った紙製の人形。平安時代には災厄除去の守り神として貴族の間で作られていた伝統がありました。

■本作は不世出の偉才の真骨頂。松園といえは、庶民の暮らしや文化に温かい眼差しを送り、気品ある画風で名声を博しました。紅白の羽織に包まれた立ち姿の雅さたるや。そして、驚くべきは白地に描かれた松と藤の描

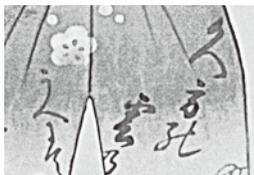


写です。松葉の緑と藤の花の紫は見事な対比を生み出し、無骨な松の幹は美に写實的。画の中にもうひとつの細密画が描かれており、無骨な松の幹は美に写實的。画の中にもうひとつの細密画が描かれており、無骨な松の幹は美に写實的。画の中にもうひとつの細密画が描かれており、無骨な松の幹は美に写實的。

## 贅沢な金色が画の雰囲気盛り立てます

■羽織の赤地に輝くのは華やかな金色。男びなの袴や女びなの細帯にも贅沢に用いられており、桃の節供を祝うにふさわしい演出です。子供時代に苦勞を重ねた松園のひな人形への憧れと同時に、画を通じて多くの人に感動を届けたいという画家としての思いを感じ取っていただけるかと存じます。琳派の大家が好んで描いた構図に則り、薄紅の花で病魔退散や無病息災を願う桃の木を上部に描き、余白の美を生かした円熟期の傑作。原画は個人蔵であるため、美術館などで目にする機

会はございません。この度は床の間を高雅に彩る「軸装」と和室・洋室を問わずお飾りいただける「額装」をご用意。写生の天才と謳われた心温まる描写は松園作品の中でも随一です。ぜひ心華やぐ季節に節供の飾りとして喜ばれる吉祥尽くしの作品を稀なる好機にお求めください。今回頒布は各限定10。



男びなの袴には梅の花に和歌の枕詞が描かれています

## 軸装

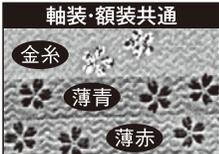


※香炉はイメージです

## 額装



お部屋に春の風を吹き込む色鮮やかな吉祥画！  
稀代の女性画家の繊細な筆致が空間を上品に演出します。



華やかなひな祭りの画に似合う薄青、薄赤、金糸の縞地に舞う桜。曙地桜紋金縷の表装が作品を盛り立てます！



■木製(簡易組立)  
■寸法(約):高さ90×幅30×奥行36cm(茶)

- 作品仕様：本紙・特製絹本 共通
- 軸装仕様：「表装 大和三段表装(天地 亜麻色無地 純綿製「中廻」曙地桜紋金縷「文字」風帯) 白地金唐草紋純金縷 軸先陶製辰砂茶)
- 額装仕様：木製茶額縁(曙地桜紋金縷「ツ」アクリル 吊り紐付き) ■画(寸約)：縦89cm×横34cm(共通)
- 軸寸(約)：縦164cm×横46cm、重さ450g
- 額寸(約)：縦124cm×横47cm、重さ4.3kg
- 工法：インク入り作品保証書付き ■軸装は桐箱入り

## 頒布価格(税込)

【春ひいなのお図】 (実質年率13.69%)  
軸・額をお選びください 月々 9,203円×12回(計 110,436円) 一括 102,667円

【額置スタンド(大)】 (実質年率11.32%)  
月々10,088円×3回(計 30,264円) 一括 29,700円

## ハガキ・FAX・ネットまたはお電話でお申し込みください。

お届けは受注から約1ヵ月後。発送手数料は一点につき660円(税込)、額は1,650円(税込)。一括払は代金引換・クレジットカード、もしくは現品到着後10日以内の振込(代引・振込手数料弊社負担)。分割払はクレジットカードもしくは口座からの自動引落とし。クレジットカードご利用時は各クレジット会社様の規定に準ずる。現品到着後8日以内なら瑕疵なき限り、送料自己負担でご返品可。当社基準により、ご希望の支払い方法にそいかわる場合がございます。

FAX (24時間受付) 03-3762-7609 プリーダイヤル 0120-807-577

芸術と文化の殿堂 100周年 ※個人情報取扱いに関する内容は弊社ウェブサイトにてご確認ください。

東京書芸館 〒140-8536 鮮やかな色彩や細やかな図柄、美しい表装はこちら 東京書芸館 検索

文化勲章受章作家 上村松園 略歴  
明治8年、京都生まれ。明治20年、京都府画学校入学後、四条派の鈴木松年に師事。明治23年、第3回内国勸業博覧会で一等褒状受賞。明治33年、日本絵画協会・日本美術院連合展で銀牌の名誉に浴す。昭和6年、ドイツ政府の希望でベルリン日本美術展出品作を国立美術館に寄贈、赤十字賞を受賞。昭和16年、帝国芸術院会員となり、以降、18年、昭和19年、帝室技芸員を務める。昭和23年、女性として初の文化勲章受章。昭和24年、逝去、従四位に叙される。



掛軸は、画題と作家名が箱書きされた桐箱に入れてお届けいたします。版元が厳密な制作を保證した落款印と限定番号限定200部が入れられた奥付